

令和 6 年 5 月 2 日
埼玉大学大学院 長田昌彦

地層処分技術 WG への意見書

講義のため地層処分技術 WG を欠席させていただきますので、下記の通り、意見書を提出させていただきます。よろしくお願いいたします。

記

地層処分事業は日本列島という変動帯の中で如何により良い場所を選ぶかが非常に大事な事業であると認識しています。適切ではない可能性が想定される箇所においては、概要調査に先送りするよりも、文献調査段階で切り捨てて、概要調査に臨むことが望ましいと考えます。この事業では、ある箇所が適切ではないことを概要調査によって証明する必要は全くないと考えます。自然を対象とし長期にわたる本事業では、すべてを理解したうえで実施することは不可能です。不明な点がある中で、最善を選択していくことのできる建付けが必要と考えます。

その意味で、寿都町文献調査報告書（案）では、白炭断層を含む黒松内低地断層帯の北方延長に関する知見がないことを理由に、概要調査地区の候補として、文献調査対象地区全体を残されていますが、海域も含めて、その線上の領域は概要調査地区からはずすことが望ましいと考えます。この点につきましては、「地学の専門家等」からのご指摘にも対応している事項と思います。仮に、この領域をはずさない場合には、この領域における概要調査において何を実施するのか、実施主体側から具体的な計画に関する説明をお願いしたいと思います。

以上です。ご検討のほど、よろしくお願いいたします。